

令和4年度茨城県近代美術館運営支援協議会事業計画

茨城県近代美術館運営支援協議会は、茨城の文化芸術の創造を目指して運営される茨城県近代美術館を支援し、もって地域の振興に寄与することを目的に、次の事業を実施する。

<対象事業>

- 1 展覧会の開催
- 2 郷土作家等に関する調査研究
- 3 教育普及活動
- 4 その他目的達成に必要な事業

【令和4年度の主な事業計画】

区分	事業計画	予算(千円)
展覧会の開催	○ 速水御舟展 会期:2023年2月21日(火)～3月26日(日) 僅か 30 年という短い画家活動ながら、近代日本画の流れを牽引し続けた速水御舟(1894-1935)の企画展に、パートナー企業からの支援金を充当して開催	6,000
	○ 企画展準備積立金 次年度以降に開催する企画展のための準備積立金	5,000
教育普及活動	○ 教育普及アートバス事業 (概要) 県内の小学校が、教育活動として近代美術館の展覧会鑑賞やハロー！ミュージアム、アートツアーや館が用意する種々のワークショップ体験等を目的に来館される場合、当該教育活動を実施するために必要なバス借上げ料等を助成する。 ・ 予算額 : 4,000 千円 ・ 対象経費 : 大型バス1台の借上げ料及び高速料金 ・ 助成費 : 1校上限20万円(複数校合同での実施も可とするが、その場合も上限額は同額とする。) ※ ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにバスの増便が必要と認められた場合は、2台分上限額40万円とする。	4,000
その他目的達成事業	○ 展覧会広告費 ・ R4 年度開催の企画展にかかる PR 経費	2,300
	○ 企業パートナーシップ事業 ・ 特典イベント開催費、サインボード改修費、HP・デジタルサイネージ更新費等	500
	○ 館活動充実費 ・ 非接触式検知器、ワイヤレスガイドシステム等	450
	○ オリジナルグッズ製作費 ・ 所蔵作品ポケットブック及びクリアファイル等	500
企画展広報活動	○ パートナー企業からの役務提供による広報活動 ・ 常陽銀行:全営業店舗のデジタルサイネージで全企画展の情報等を発信 ・ 茨城交通:路線バスの車体広告で企画展の情報を発信 ・ 関東鉄道:路線バスの車体広告で企画展の情報を発信 ・ 水戸京成百貨店:同社の新聞折り込み広告に企画展の情報を掲載	3,000